

「外免切替の審査厳格化による影響」

について質問しました。

2025年10月、外免切替(外国の運転免許証を日本の免許に切り替える)の審査について、「手続の厳格化の内容」や「合格率の変化」、「外免切替のインターネット予約の現状」などについて質問しました。厳格化の内容については、「免許申請時に住民票の写しの添付が必要となり、観光等の短期滞在者は免許を取得できなくなりました。運転に必要な知識確認では、従前は10問中70%の正解が必要であったものが、50問に増えて90%の正解が必要になったほか、技能確認では横断歩道の通過

等新たな課題が追加されました」と回答がありました。厳格化の前後で合格率は「知識確認では約94%(2025年1~9月)が約37%(2025年10~12月)に。技能確認では約28%(2025年1~9月)が、約23%(2025年10~12月)になりました」との回答を得ました。予約状況は「厳格化前は予約枠に対して100%の予約率でしたが、厳格後は約70%の予約率となり、以前より予約が取りやすい状況になっています」とのことでした。

外国人県民の皆さんは、産業を支える存在であると共に、社会の維持・発展にとっても重要な存在です。一方で、人数の増加に伴い、交通ルールを守らない一部の方が事故を起こす懸念に対して、今回の厳格化は、安全な交通社会の実現に寄与すると思います。受入を進める立場として、課題もしっかりと向き合っています。



山口 たけし

愛知県議会議員(岡崎市・幸田町選出)

あいち民主県議団(監事) / 建設委員会所属

子ども・子育て対策特別委員会所属



『4年の任期も残り1年』

2023年4月の初当選から、あっという間に3年が過ぎました。この間、12回あった定例議会において、一般質問は毎年1回ずつの計3回、議案質疑を4回、各種委員会では都度質問を行い、昨年は決算特別委員会での集中審議も経験できました。

皆さんからいただいたご意見や課題意識に基づき、私なりに事態の解決や改善に向けて質問を組み立て、各担当局からの答弁内容の実現を通じて、より良い愛知(岡崎・幸田)の実現に取り組んできたつもりです。任期満了まで残り1年。確実な前進を図るべく、アクセルを踏み込んで取り組んで参ります。



プロフィール 1968年9月25日 京都市生まれ / 1992年に京都大学経済学部経済学科を卒業 / 同年トヨタ自動車に入社し、生産管理部に配属 / てんびん座A型 / 妻と息子2人 / 趣味はゴルフと足つぱマッサージ、長男と映画鑑賞、次男とラーメン屋巡り、愛車でドライブ



公式 facebook



県議会での質問後にはラーメン好きの次男と岡崎で塩ラーメンの名店を訪問。ごちそう様でした。

※愛知県議会での私の質問内容は右の二次元コードから議事録や動画で確認いただけます。是非、ご意見をお願いします。



山口発言の検索画面



山口発言動画再生画面

発信者で探す ▶ 山口健 で検索

活動のご報告 岡崎市や幸田町を中心に、皆さんのご意見を伺っています。

1/10 新年交礼会に参加

岡崎市民会館で開催された新年交礼会に参加しました。モノづくり王国愛知の産業出身として、働くことの意義を何より考える労働組合出身の議員として、本年何を成すべきか、改めて考えを整理することができました。



1/14 福利厚生型老人ホームの提案をいただく

会社の福利厚生型老人ホームの提案をいただきました。どこの会社も深刻な人手不足の中、介護離職せざるを得ない社員に向けた有意義な取り組みと感じました。



1/16 自動車関係の企業を訪問

鈴木化学さんでは技能実習生の監理団体に関して意見交換。矢作産業さんでは喫緊の課題であるレアアースの調達と県の補助金申請状況を確認。幸田マンナリーさんでは高卒人材確保の課題について、田境町議と共に意見交換しました。



1/6 トヨタ衣浦工場でのあいさつ活動

自動車産業の稼働初日は朝5時半の激寒の中、トヨタ衣浦工場でのあいさつ活動に「神谷さとる碧南市議と愉快な仲間達」として参加。上は下着含めて8枚重ねているのに、風がきつく芯まで冷えました。



2/13 TOYOTA WOVEN CITYを訪問

原紀彦岡崎市議とTOYOTA WOVEN CITYを訪問。実証実験中の街らしさを感じつつ、敷地内ではフェーズ2に向けた大規模工事も進んでおり、労働組合で共に活動した太田さんの丁寧なご説明により、今後への期待が膨らみました。



3/3 県議会2月定例会で一般質問

定例会で一般質問を行いました。日本の持続的な成長エンジンたる愛知に不可欠な取り組みとして、「モノづくりは人づくり」「水素・アンモニアの社会実装の推進」の観点で質問。大村知事をはじめ、教育長・労働局長・経済産業局長から答弁をいただきました。(詳細は中面を参照ください)



モノづくり王国あいち を、子や孫の世代に受け継いでいくために

定例議会で県に対し 質問と提案 を実施

2月の定例議会で愛知県に対し、以下のテーマで質問と提案を実施いたしました。

子ども達のキャリアデザイン

小中学校、高校のキャリア教育を通じて、子ども達が早くから将来のキャリアを考えられるような愛知県へ! 今後の取り組みは?



外国人県民の戦力化が重要

外国人材は愛知県のモノづくりを支える重要な戦力です。日本語や日本文化、ルール、企業理念を学ぶ環境を提供するとともに、日本人のトレーナー育成も必要と考えています。



中堅・中小企業の経営基盤強化を!

中堅・中小企業の人材確保と人材育成には、経営基盤の強化が不可欠。価格転嫁の取り組みはもちろん、企業変革にチャレンジすることが何より重要だと考えています。



そのほか「水素・アンモニアのサプライチェーン構築に向けて」

「燃料電池商用車7,000台の導入目標実現に向けて」の

取り組みについて質問しました。



人手不足に伴う人材確保の難しさから、本来中長期目線で取り組むべき「人材育成」がおろそかになっているケースも見られます。今こそ、「モノづくりは人づくり」の実践が必要です!

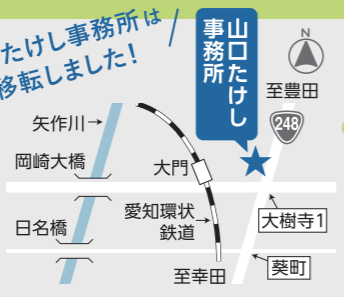
ご意見などございましたら

下記までご連絡ください。

発行 山口たけし事務所

〒444-2134 岡崎市大樹寺3丁目1-7-105号
TEL: 0564-21-6376 FAX: 0564-21-2388
E-mail: takeshi-yamaguchi@tmwu.or.jp

山口たけし事務所は 移転しました!



お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。



公式サイト



「モノづくりは人づくり」実践のため、山口たけしが定例議会で質問しました →

令和8年2月 定例議会で

山口たけしが 一般質問を 行いました。



「モノづくりは人づくり(子ども達のキャリアデザイン/共にモノづくりを支える外国人県民/中堅・中小企業の
人材確保に不可欠な経営基盤強化)」と「水素・アンモニアの社会実装の推進(水素・アンモニアのサプライ
チェーン構築/燃料電池商用車7,000台の導入目標実現)」について質問しました。各課題についての施策
の状況や方針などについて説明を求めるとともに、要望を伝えてまいりました。



子ども達のキャリアデザインについて



山口たけし

モノづくりの魅力に触れ、15歳や18歳での進路
選択の視野を広げることを目的に、トヨタ関連企
業17社と教育委員会・労働局が連携を始めて
おり、私も会議に参加しました。従来にはない実
践的な機会が提供されると期待しています。子ども
達が早期に社会に目を向けられるようにするた
めに、更なるキャリア教育の充実を求めます。

小学校では働く人と出会い、中学校では働くこと
を体験。高等学校ではインターンシップ等を通し
て働く自分をイメージするなど、段階的に将来設
計ができるようにしています。2026年度から小中
中学校でキャリア教育コーディネーターを活用し、
体験活動の受け入れ先を開拓。企業見学や体験活
動を実施していきます。
また、企業見学会や体験イベントの情報、出前講
座の講師一覧を学校に提供するなど、子ども達が
さまざまな仕事に触れられるようにしていきます。



川原
教育長



山口たけし

国の高校教育改革に関する基本方針
を踏まえ、アドバンスト・エッセンシャル
ワーカー*の育成こそ、モノづくり王国
であり続ける愛知県のキャリア教育が
取り組むべき目標だと考えています。

※AIなどデジタル技術を活用して、現在より高い
付加価値を実現し、高い賃金を得ようとする
エッセンシャルワーカーのこと。

県立高校の工業科において大規模な学
科改編を行い、産業界の技術革新に対
応した実践的な職業教育に取り組ん
できました。2026年度からは国のグランド
デザインを踏まえ、産業界や大学等と連
携・協働した学びや先端技術に対応した
学びを推進するパイロットケース創出
に取り組み、その成果を県内高校へ広く展
開してまいります。



川原
教育長

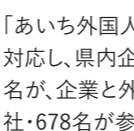


山口たけし

共にモノづくりを支える 外国人県民について



2027年度からの育成就労制度の開始は「モノづくりは人づくり」の理
念を外国人県民に実践するラストチャンス。外国人材の獲得のためにも
新たな仕組みの構築が必要です。本県は新たに「あいち外国人材
受入サポートセンター」を設置し、県内企業からの相談対応や専門家
の伴走支援、日本語研修、合同企業説明会など、中小企業への支援策
に取り組んできました。施策の成果と課題をどのように捉え、今後いか
に事業を展開されていくのかお伺いします。



山口たけし

「あいち外国人材受入サポートセンター」では、1月末までに914件の相談に
対応し、県内企業20社に専門家を派遣。企業向けセミナーには6回で計523
名が、企業と外国人材とのマッチング支援では、合同企業説明会に延べ61
社・678名が参加。ベトナム・インドネシアの現地人材向けのオンライン合同
企業説明会では延べ20社、933名が参加しました。今後もこのような取り組
みを通じて、中小企業が外国人材を円滑に確保できるよう支援いたします。

本県の産業経済を支える中小企業が外国人材を確保するうえで、現地の
人材に直接アプローチし、本県に呼び込む取り組みが効果的です。2026年
度はフィリピン人材の確保に向けた取り組みも開始します。フィリピンの大
学生を本県に招いて企業見学会や交流会を開催するなど、まずは現地大
学等との関係構築、本県企業と現地人材との相互理解の促進を図ります。



私が主催する「外国人の健全な受入に関する研究会」では、優秀な人材をインド
ネシアから送り出す仕組みに加え、中小企業のコスト負担を支える基金を設置す
るアイデアも出されています。仕組みの構築が図れるよう知恵を絞ってまいります。



金山
労働局長



大村知事

中堅・中小企業の 人材確保に不可欠な 経営基盤強化について



山口たけし

モノづくりの中小企業にとって、人づくりに
欠かせない持続的なコスト負担を可能にす
る稼ぐ力について、県は現状の課題をどう捉
え、どのような戦略や方向性をもって、政策
を展開していくつもりかを伺います。

スタートアップとの連携・協業による新事業展
開、DX・AI活用やロボット技術導入による生
産性向上、人材確保、事業承継など、直面する
経営課題への支援を総合的に進めます。
また、中小企業が取り組む事業展開のスピー
ドアップとスケールアップを後押しするほか、
適正取引・適切な価格転嫁の実現に向けた気
運醸成や環境整備にも取り組んでまいります。



犬塚
経済産業局長



原材料やエネルギー費の上昇が続く中、価格
転嫁の取り組みは必須です。その上で、中小
企業を経営する皆さんが、自らの強い意志に
より、企業の変革にチャレンジしていくことを
支援することが重要であると考えています。

水素・アンモニアの社会実装の推進

水素・アンモニアの サプライチェーン構築に向けて



山口たけし

継続的なコスト負担に関する懸念を念頭に、水素・アンモニアの
サプライチェーン構築に向けて、各企業が継続して取り組むために、
県としてどのように取り組んでいくのか伺います。

2026年度新たに供給拠点の設置に向けた調査を行う5社程度の企業に、
経費の2/3、上限2千万円まで補助する制度を創設。また、大規模水素ス
テーション整備では、新規整備や能力増強に対する補助率を1/4から1/3
へ見直すとともに、新規整備の補助上限額を2億5千万円から約6億円に
大幅に拡充し、供給体制の充実に取り組んでまいります。



犬塚
経済産業局長

知事のリーダーシップのもと、民間の活力を最大限活
用しながら取り組みを進め
ていただくことを期待します。



燃料電池商用車7,000台の 導入目標実現に向けて



山口たけし

燃料電池商用車7,000台の導入目標実現に向けて、どのような取り組みを行っているのか。
また燃料電池商用車の更なる導入に向け、来年度はどんな取り組みを行うのかお伺いします。

2026年度は大型トラックの購入補助率を差額の全額に、補助上限額を約2,900万円から約6,300万円へ引
き上げます。燃料費支援では水素と従来燃料の差額の補助率を1/4から1/2に拡充。燃料電池トラックの有
料道路通行料金の1/2を支援し、導入を促進します。燃料電池タクシーは、国の支援と連携し、既存車両の導
入コストと同程度の負担で導入できるよう、補助上限額を350万円に引き上げるとともに、水素と従来燃料の
差額の全額を支援。2030年度までに250台、来年度は50台の県内事業者による導入を目指しています。



犬塚
経済産業局長

毎年の猛暑を踏まえれば、
温暖化対策に向けたCO₂
削減はまったなし。「あいち
自動車ゼロエミッション化
加速プラン」の目標である
「2030年度の新車販売台
数割合30%の達成」に向
けて、取り組みの加速が重
要です。

